

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
精神保健福祉援助実習指導 I		選択	2	3	後期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
宮村 りさ子	B312	risako.miyamura		木曜日 11:00~12:30	
授業の目的・概要	<p><目的> ボランティアなど現場での経験を系統的に積むことを通して、精神保健福祉士として必要な態度、価値、知識。技術の理解を深めるとともに、職業倫理や専門職としての自覚を養い、精神保健福祉士の役割、関連機関や職種との連携のあり方を理解することを目的とする。</p> <p><概要> 事前学習を前提とした講義形式また演習形式での授業を行う。精神保健福祉援助実習において何を達成したいのか、自身の課題や実習の目的を言語化することができるように、グループワーク・プレゼンテーションを取り入れた授業を進める。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・イベント <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	本科目は学外実習に向けた事前学習であるため、精神保健福祉士および精神保健福祉分野の知識が定着するように関連図書を読み、ボランティア活動などの準備をすること。また、日頃からニュースや新聞記事を読んで精神保健福祉分野とその対象者に関するテーマに触れて考察するように習慣づけること。				
教科書	新 精神保健福祉士養成講座 9 精神保健福祉援助実習指導 実習編:日本精神保健福祉士養成校協会/中央法規出版				
参考書	「学外実習の手引き (健康科学大学福祉心理学科編集)」 教科書以外の資料は別途配布する。参考図書は授業時に適宜紹介する。				
外部教材	なし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	精神保健福祉援助実習の意義について説明できる。			HSU(2)、WP(3)(5)	
②	精神保健福祉援助実習に必要な知識、技術、価値について説明できる。			HSU(2)、WP(3)(4)	
③					
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション (授業の進め方、評価方法、学習方法) を実施する。	講義	シラバスや教科書を読み、全体像を把握する。	4	
2	精神保健福祉援助実習の意義と目的、プロセスについて学ぶ。	講義	精神保健福祉に関する図書や新聞記事を読み、考察する。	4	
3	精神保健福祉援助実習の流れと学習課題について学ぶ。	講義	精神保健福祉に関する図書や新聞記事を読み、考察する。	4	
4	精神保健福祉援助実習の現場や対象者への理解について学ぶ。	講義	精神保健福祉に関する図書や新聞記事を読み、考察する。	4	
5	精神保健福祉援助実習の基本的姿勢、心構え、留意点を学ぶ。	演習	精神保健福祉に関する図書や新聞記事を読み、考察する。	4	
6	精神保健福祉援助実習における自己覚知について学ぶ。	演習	精神保健福祉に関する図書や新聞記事を読み、考察する。	4	
7	精神保健福祉援助実習における倫理綱領や行動規範を習得する。	演習	精神保健福祉に関する図書や新聞記事を読み、考察する。	4	
8	精神保健福祉援助実習におけるスーパービジョンを習得する。	講義	精神保健福祉に関する図書や新聞記事を読み、考察する。	4	
9	実習施設の現状と精神保健福祉士の役割を習得する。	講義	精神保健福祉に関する図書や新聞記事を読み、考察する。	4	
10	実習分野についての基本的理解① 精神科医療機関について学ぶ。	演習	精神保健福祉に関する図書や新聞記事を読み、考察する。	4	
11	実習分野についての基本的理解② 障害福祉サービスについて学ぶ。	演習	精神保健福祉に関する図書や新聞記事を読み、考察する。	4	
12	実習分野についての基本的理解③ 行政機関について学ぶ。	演習	精神保健福祉に関する図書や新聞記事を読み、考察する。	4	
13	実習分野についての基本的理解④ その他の施設・期間について学ぶ。	演習	精神保健福祉に関する図書や新聞記事を読み、考察する。	4	
14	実習生として学外実習に向けた課題、目標を明確にする。	グループワーク 発表	授業時に出された課題に取り組み。	4	
15	全体の総括として、学外実習に向けた自己覚知を明確にする。	演習	授業時に出された課題に取り組み。	4	
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照する。				

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

		達成度評価					
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		100	0	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	80	0	0	0	0	80
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	学期末に筆記試験（選択式）を実施して評価する。詳細については、講義中に説明する。 学外現場実習では、今まで学んできた科目すべての知識が求められるため、定期試験は幅広い範囲から出題される。				試験結果を掲示する。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員							
教員の実務経験							
実践的授業の内容	本科目は学外実習の事前学習のための実習科目であるため、精神保健福祉の各施設や対象者、精神保健福祉援助実習として必要な態度・価値、専門的な知識や内容に対する理解を深めるために、アクティブラーニングによる実践的な授業も取り入れる。						
そ の 他	<ol style="list-style-type: none"> 1) 大学が公表している感染症対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加を認めない。 2) 今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によってシラバスの変更が行われることがある。 3) 精神保健福祉士国家資格取得希望者は必須科目につき必ず履修すること。 4) 精神保健福祉援助実習の履修希望者は必ず履修すること。学外実習に向けた実習科目であるため、原則として遅刻や欠席は認めない。やむを得ず遅刻や欠席をする場合は、必ず所定の手続きを踏むこと。 						